

平成28年度 今治市駐車場施設指定管理者モニタリング結果

施設名	駅前広場、風早駐車場、今治駅東第1、第2駐車場
所在地	北宝来町一丁目100番地、風早町一丁目2番地5、 北宝来町一丁目729番地18、北宝来町二丁目773番地8
指定管理者	名 称 今治商工会議所 代表者 会頭 檜垣 清隆 住 所 今治市旭町二丁目3番地20
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。 その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。
担当部課 (問合せ先)	都市建設部 用地管理課 TEL : 0898-36-1562 E-mail : kanrika@imabari-city.jp

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	A	<p>全体的な自己評価としては、駐車場施設設置目的を十分に理解し、道路交通の円滑化と公衆の利便を図り、かつ、都市機能の維持に寄与することができたものと考えております。 駐車場施設の利用者が気持ち良く利用していただけたものと考えております。 公共施設として管理運営する上で、安心・安全・快適・便利を常に心がけ、施設利用者に喜んでいただけるように努めました。</p>	A	<p>事業目的を十分に理解し、事業全般にわたり適正な運営にあたっている。</p>
使用状況	B	<p>平成28年度に駅東第一駐車場の自動精算機械を取り替えたことで、トラブルもなく全駐車場をフル稼働させることができたことは、日常の管理運営業務が適切に行われたことに対する結果であると思われれます。</p>	B	<p>各駐車場施設の駐車台数及び収入金額ともに前年度と比較して、減少している。 駐車場需要は景気や施設周辺の交流人口に左右されるもので、指定管理者が駐車台数や収入金額を増加させることは無理がある。 ただし、今治港周辺の駐車場については航路の廃止や減便、また、港周辺の更地増加に伴う月ぎめ駐車場の増加など、駐車場経営で月ぎめ駐車場の需要について民間と競合しており、定期駐車場契約者の異動について注視していく必要があり、定期的に、民間駐車場の月ぎめ料金について調査を実施するよう要請している。</p>
事業収支	A	<p>収支は適切に管理・運営いたしました。</p>	A	<p>収支計画にほぼ近い収支決算である。 駐車場施設の自動精算機械など、機械導入施設では機械の更新時期となっている。今年度、市の予算により駅東第一駐車場の自動精算機械の取り替えをした。他の駐車場では幸いにも、大きな維持修繕の発生はなかった。</p>

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
管理運営体制	A	管理運営体制及び・職員研修等については適正な対応・研修ができたものと考えております。 職員研修等においては、名札着用や親切な言葉遣いなどの接客マナーを研修させ、駐車場利用者から施設としての良い印象をいただけるよう、職員の意識向上を図りました。	B	仕様書で求めた、職員の体制により対応しており、適正な対応であった。 特に管理・運営に対する苦情は少なかったが、今後は更に職員の意識・知識の向上に努め、研修などを通じて職員の更なる資質の向上を目指してもらいたい。
管理運営業務	A	維持管理業務については、適切に業務を遂行できたものと考えております。	A	基本的に仕様書で求めた管理業務基準を外部委託を含め適切に履行できていた。また、利用者からの要求に対しても迅速且つ適正に処理できており、今後も適切な管理を行ってほしい。
使用業務	B	使用業務については、管理・受付は苦情もなく問題発生はありませんでした。	B	特に問題はない。
その他業務	B	特に大きな事故もなく円滑駐車場運営ができました。	B	個人情報の取扱いについては、施錠できる書庫で場長が管理しており適正であった。 事故や災害に即対応できるよう緊急連絡体制が整っている。喫煙に関しては分煙の徹底を図っており、適正な対応ができている。
修繕業務	A	修繕業務については、適切に処理出来た。	A	自動精算機械については、日常及び定期点検の実施により故障発生もなく、駐車場使用者に不便をかけるようなことがなく、高い評価ができるものである。 機械、施設とも古くなってきており、日常の適切なメンテナンスが重要である。
備品管理業務	A	備品管理業務については、適切に行えたと考えております。	A	備品管理は適正に行われていた。 備品を購入する場合は必要性を十分検討したうえで、購入計画を立て適切な対応をしてほしい。
行政財産の目的外使用許可手続業務	A	行政財産の目的外使用許可手続業務については、市と連絡調整し、市の指示に従い処理しました。	A	適正に処理できている。
自主事業	B	今年は、自主事業が十分には出来なかったが、毎年継続的に計画をして実現したい。	B	施設の性質から様々な自主事業の展開は困難ではあるが、ヒアリングの際に指定期間内に設備の改修を行うことを検討していると確認している。今後の実施に期待するものである。
地域団体との連携	B	商店街団体役員に駐車場運営協議会委員として参画していただき、施設使用者の立場で意見を出してもらっている。 また、市、商店街協同組合等と連携をとり、公営駐車場が地域活性化の一助として役立つよう取り組んでいる。	B	施設の設置目的を理解したうえで、適切な対応をしている。
利用者アンケート	B	利用者アンケートについては、その実施及び内容について市と事前協議を行い実施いたしました。	B	駐車場という目的の施設でのアンケートであるため、利用者の要望は限定されたものである。 要望された内容で対応できるものは実施しており、適正であった。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
事故・苦情	A	<p>苦情・事故等に対しては適切に対応処理を行っています。</p> <p>また、苦情が出されることのないよう、日常において使用者の立場に立った管理運営業務を心がけております。</p>	A	<p>日常点検や定期的な巡視により、危険箇所や修繕箇所の把握を行い、事故や修繕の発生を防ぐことができた。</p> <p>今後も使用者の立場に立った管理運営を行ってみたい。</p>
指定管理者の経営状態			指定管理者として、経営的に支障ない。	

総 合 コ メ ン ト

管理運営業務等については、適正に対応できている。

使用料収入については前年度と比較(H27→H28)して、
 風早駐車場は、約17.35%減少(6,180,040→5,108,100)、
 駅前広場駐車場は、約15.22%減少(4,715,300→3,997,400)、
 駅東第1・第2駐車場は、約0.43%減少(22,255,200→22,158,500)している。
 駐車場の合計金額では、約5.69%減少(33,150,540→31,264,000)している。
 各駐車場施設の駐車台数及び収入金額ともに前年度と比較して、減少している。
 駐車場需要は景気や施設周辺の交流人口に左右されるものであるため、今後の動向を注視していきたい。